

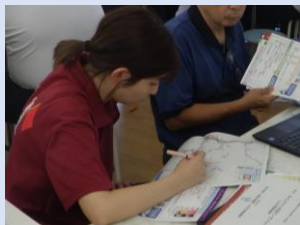
2025
10月号

事前の“知る”、“気づく”、“考える”
で、いざという時の
“行動する”をスムーズに。

まず先生へ、先生から生徒へ、そして地域へ 学校をきっかけに防災の輪が広がっています



先生がまず学ぶ

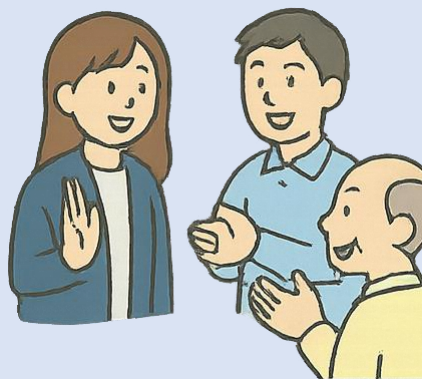
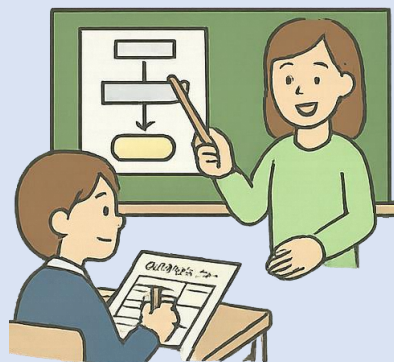


山口河川国道事務所の講師による研修では、洪水時の行動やマイタイムラインの作り方について学びます。

生徒につなぐ



学校での防災授業を通して、先生から生徒へ知識がつながり、生徒は自らマイタイムラインを作成し、災害時の行動を主体的に考えます。



地域へ広がる



生徒が身につけた防災の知識は家庭や地域に広がり、家族やお年寄りに伝わって、地域全体の防災力向上につながります。

先生が学んで生徒に伝え、生徒から家庭や地域へ広がる。マイタイムラインの取組は、防災を“自分ごと”にするきっかけになっています。

- 編集後記 -

近年、災害は頻発・激甚化しており、地域の防災力向上が課題となっています。本取組では、国から先生へ知識が伝わり、先生が生徒を指導し、生徒が家庭や地域へ広げる流れが生まれています。

生徒がマイタイムラインを作成し、家族や高齢世代と共有することで「自分の命を守る」意識が芽生え、共助の力も高まります。山口河川国道事務所では、この学びの広がりを通じ、佐波川流域の安心できる地域づくりを進めてまいります。

事業について詳しくはホームページをご覧ください



最新情報などを配信しています

X(旧Twitter)



Facebook



Instagram



佐波川の情報を配信しています

X(旧Twitter)



Publisher:
MLIT Yamaguchi Office
River Management Division

発行
山口河川国道事務所
河川管理課